

# 標十五句

松岡隆子選

言伝てを念押す釣瓶落しかな  
濃りんだう山気もろとも壺に挿す  
晩秋と言ひ坂道を降りてゆく  
月の出や諸草の風吹きかはり  
この路地も昔の幅や秋の風  
金木犀離れてをりてわかること  
露けさの手を揉んで手を目覚めさす  
今一度月見て寝まるお命日  
祝ぎ事の仕舞ひを月の出しかな  
次の世は宇宙飛行士敬老日  
亡き人の文字美しき十三夜  
語らひの最中にをりて秋思かな  
病人のものまつ先に冬支度  
人の死のやすやすありて九月尽  
身を過ぐる風のしづけさ花芙蓉

別府 優  
高橋 愛子  
川上 昌子  
松原 ふみ子  
唐木 和世  
濱地 恵理子  
鈴木 綾  
染谷 晴子  
佐藤 郭子  
東條 恭子  
小村 絹代  
菊池 一枝  
刈屋 ひで子  
菅原 永子  
田坂 孝志